

写

第6次杉戸町総合振興計画 第2次実施計画
事務事業評価【外部評価】報告書



令和5年8月

杉戸町総合振興審議会

— 目 次 —

<u>1 はじめに</u>	1
<u>2 事務事業評価（外部評価）について</u>	2
<u>3 外部評価を実施した事業</u>	3
<u>4 評価結果</u>	4
1 東武動物公園駅東口通り線整備事業	4
2 議会映像インターネット配信事業	9
<u>5 おわりに</u>	14
<u>杉戸町総合振興審議会委員名簿</u>	15

1 はじめに

第6次杉戸町総合振興計画が、令和3年度からスタートし、2年が経過した。

町では、基本計画に掲げられた未来像の実現のため、財政計画との整合性を図りながら、目標達成に必要な事業の実施計画を作成し、計画的かつ効率的な行財政運営を推進している。

計画の推進にあたっては、より未来像実現のための行政運営、限られた財源の有効活用等を目指し、計画にかかげられた各事業について、内部評価及び町長評価を行うとともに、開かれた行政、町民への説明責任、更なる効果的・効率的な事業の実施を目指し、杉戸町総合振興審議会委員による行政評価（外部評価）を実施しているところである。

杉戸町総合振興審議会では、実施された事業や内部評価に対して住民の視点による客観的な評価を行い、その意見を町の施策に反映させていくことで、協働のまちづくりを推進していくことができると考える。

そのため、この評価結果については、町長をはじめ、町職員の全員が真摯に受け止め、行政サービスの向上に不断の努力を払うとともに、各種計画の推進及び予算編成等に反映していくよう、要望するものである。

杉戸町総合振興審議会
会長 菊地 信一

2 事務事業評価（外部評価）について

(1) 事務事業評価（外部評価）とは

事務事業評価（外部評価）とは、事業の成果を行政内部のみではなく、広く公開して、住民への説明責任を果たすとともに、その意見を取り入れ、今後の行政運営の参考とする仕組みであり、住民の視点に立った、目的及び成果を重視する行政運営を目指すために実施するもの。

○ 計画 — 実施 — 評価 — 改善 のマネジメントサイクルの確立



(2) 外部評価の流れ

① 第1次評価（内部評価—担当課長）

各担当課が所管する事業について、担当課が評価をする。

② 第2次評価（内部評価—町長）

第1次評価結果（担当課長評価）について、実施計画の進行管理を担当する総合政策課が集計した後、町長が評価をする。

③ 第3次評価（外部評価）

行政評価に住民の意見を反映するため、外部評価として、杉戸町総合振興審議会委員により、第6次杉戸町総合振興計画に掲げられた各事務事業の中から数事業を選定し、評価をする。

(3) 評価の項目

事業の評価	評価の視点	評価項目
① 事業の有効性	主要施策の推進に対して、効果が出ているか。	1. 有効性が高い 2. 一定の有効性がある 3. 有効性に疑問がある 4. 有効性が低い
② 事業の効率性	事業費に対して、効果が得られているか。	1. 効率性が高い 2. 一定の効率性がある 3. 効率性に疑問がある 4. 効率性が低い
③ 事業の妥当性	手段（事業範囲や規模等）は適正か。	1. 妥当性が高い 2. 一定の妥当性がある 3. 妥当性に疑問がある 4. 妥当性が低い
総合評価	1. 順調である 2. おおむね順調である 3. 改善の必要がある	

(4) 外部評価結果の活用

評価結果については、町長へ報告し、次年度以降の予算編成並びに施策・事務事業の選択及び重点化などに活用するとともに、杉戸町総合振興計画の進行管理及び見直し等に活用することを要望する。

3 外部評価を実施した事業

外部評価は、第2次実施計画に掲げた全ての事業（111事業）の中から、外部の視点で事業の方向性を議論することが有意義と考えられる事業について、2事業を選定し、事業の評価をした。

主要施策	評価対象事業	担当課	頁
27 快適で居心地の良い住環境の整備	77 東武動物公園駅東口通り線整備事業	市街地整備推進室	4
37 町民参加のまちづくりの推進と地域の人材・組織の支援	106 議会映像インターネット配信事業	議会事務局	9

4 評価結果

1 東武動物公園駅東口通り線整備事業

1 評価対象事業の概要

事業名	77 東武動物公園駅東口通り線整備事業
所管課	市街地整備推進室
事業概要	<p>安心安全で快適な交通環境を創出するとともに中心市街地の活性化を図るため、東武動物公園駅東口通り線の早期整備を推進する。</p> <p>当該事業は、街路事業として平成30年12月28日付で県道区間、平成31年1月18日付で町道区間の一部の事業認可を取得し、さらに狭小残地対策として令和元年12月6日付で県道区間の一部において沿道整備街路事業の事業認可を取得した。</p>
事業効果	町のシンボルロードである当該道路整備により、中心市街地の活性化、安心安全、利便性、町の魅力等の向上に寄与する。また、安定的な就業機会の創出等による移住定住の促進につながる。
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物件調査、建物補償等 ・ リノベーション事業推進業務 ・ 駅前広場整備に対する協力 ・ 県街路事業に対する負担 <p>199,022 千円（令和4年度当初予算額）</p>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ リノベーションスクールの実施 空き家2物件 ・ 駅前広場整備事業に対する協力金の支出 ・ 県街路事業費負担金の支出 ・ 関係権利者に対して用地交渉を実施し、年度末に契約ができたが支払いまでには至らなかった。 <p>32,101 千円（令和4年度決算額）</p>
関連する成果指標（KPI）	東武動物公園駅東口通り線整備延長 0m（令和4年度末実績）／ 414.8m（令和7年度末目標）

2 内部評価

(1) 担当課評価【第1次評価】

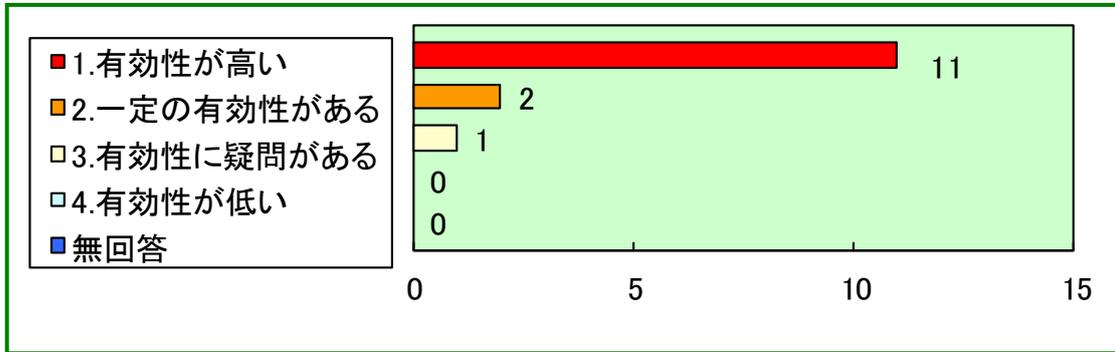
事業 の 評 価	評価項目		コメント
	有効性	1. 有効性が高い	東武動物公園駅東口通り線については、杉戸町、宮代町の両町にかかる道路となっており、杉戸町区間では、令和4年度末時点で約69%の用地確保に努めた。また、駅前広場については整備主体は宮代町となるが、令和4年度末時点で約63%の用地確保に努めた。
	効率性	1. 効率性が高い	用地確保については、不動産鑑定を行うなど適正な価格にて算出されている。 手法としては、事業主体は道路については埼玉県、駅前広場については宮代町となるが、整備に向けた費用の一部を支出をしており効果的である。
妥当性	1. 妥当性が高い	道路における用地交渉は町職員が行っており、コロナ禍の影響もあるが、関係権利者の希望により対面方式や電話等で実施しており、これまで順調に進んでいることから妥当である。	

(2) 町長評価【第2次評価】

事業 の 評 価	評価項目		コメント
	総合 評価	1. 順調である	地権者の財産にかかわる用地交渉であるため、非常に時間がかかる。そのような中、約69%まで買収が進んでいる。また、道路、橋梁、工事スケジュールなどの詳細について地権者説明会を実施し、早期実現に向けて取り組んでいることは評価できる。 公共事業の用地買収は80%前後からの進捗が難しいとされているため、今まで以上に、地権者に寄り添い、根気強く交渉を進め、安心安全な駅前通りがより早く整備できるよう、引き続き邁進してほしい。

3 外部評価 【第3次評価】

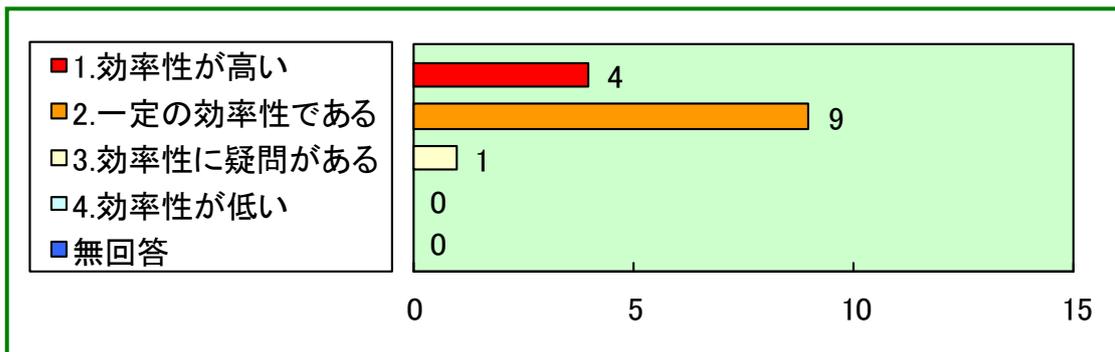
① 事業の有効性



委員からのコメント

- 整備事業として、住民にとって安全面で有効性が高い。
- 杉戸の玄関・顔になると思う（旧杉小跡地開発を含め）。
- 杉戸町の顔ともいえる駅前の整備が軌道に乗ってきた感じがしている。
- 用地確保の進捗率は概ね順調。宮代町との連携もできており、今後の進捗に懸念はないと考えられる。
- 市街地活性化への具体的な有効性が認められない。市街地空洞化へのおそれ。
- 町民の利便性は確実に向上すると考えられる。
- 安全性に対して有効。

② 事業の効率性



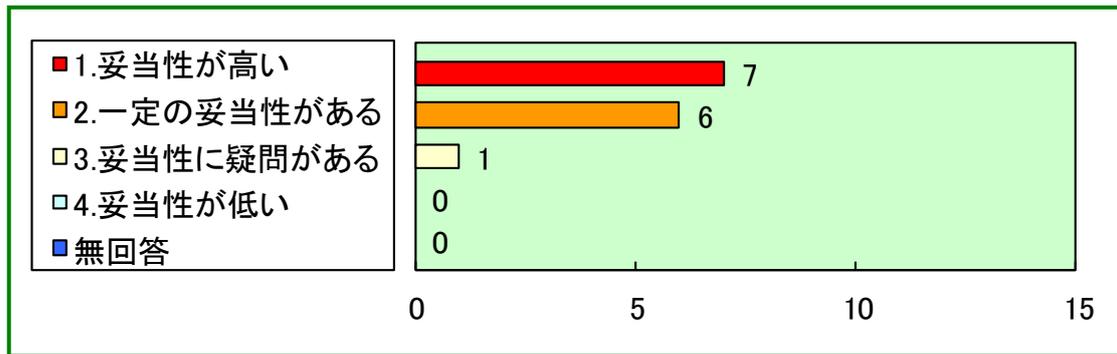
委員からのコメント

- 用地の取得に関して、工夫していることがわかった。
- 杉戸町の顔ともいえる駅前の整備が軌道に乗ってきた感じがしていることから効率的であると考えられる。
- 鑑定評価に基づいた適正価格での用地確保ができています。
- 予算執行の流れを見ていくと、予算額と決算額の差があまりに大きいのが気に

なる。

- 駅からの人流を滞留することなく動線が確保できていると考えられる。
- 計画どおりの実現に努められている。

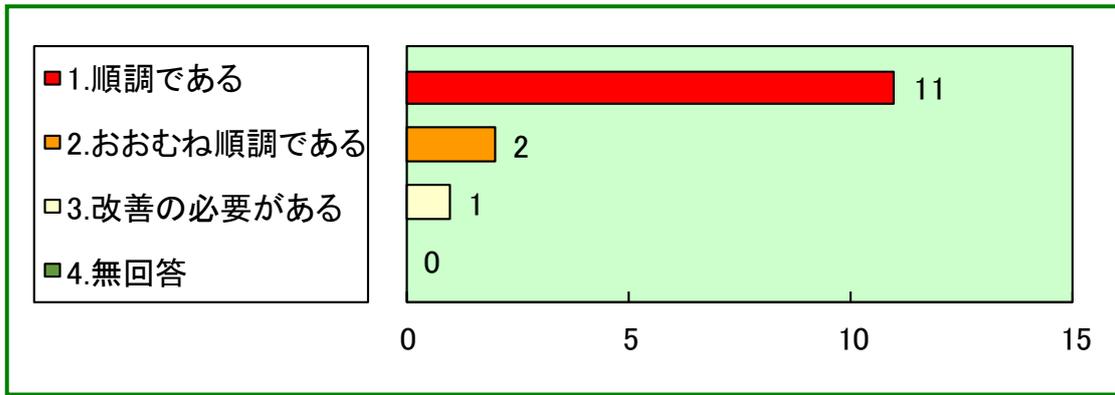
③ 事業の妥当性



委員からのコメント

- 目標に向けて着実に進んでいると思う。
- 杉戸町の顔ともいえる駅前の整備が軌道に乗ってきた感じがしていることから妥当と考える。
- 関係権利者との交渉も順調に進んでいる。事業自体が公共事業なので、妥当性に問題が生じることはない。
- 計画半ばなので、今更撤回は不可能だと思うが、今後出来るだけ妥当性を高めていってほしい。
- 応援している町民は多いと感じている。
- 一定の努力を継続されている。

④ 総合評価



委員からのコメント

- <みちが変われば、街も変わる>歩く人が増えれば、街が活性化する。道の主役は車から人へ、歩行者中心の街づくりへ。
- 様々な課題があるが、着実に整備事業は進んでいると思う。町にとって大切な事業であるので、一層の努力をしていただきたい。
- 道路としての整備事業は進んでいるように思うが、その反面、商業施設が減少しているように思われる。町の活性化推進にも充分関係することなので考慮してもらいたい。町でも色々な施策をしているようだが、結果は難しい。
- 活気ある商店が1店でも多く残るには、町の協力が必要だと思う。
- 計画ビジョンを、当該地域住民に具体的に説明する機会を設けていただきたい。
- 50年以上杉戸に住んでいるが、小・中学校の同期の多くが本事業を応援している。積極的な推進をお願いしたい。
- 空間活用の社会実験やリノベーションスクールは、町内だけでなく、町外への発信力があり、新たな人の流れを生みだしつつあると思う。
人口減少対策として、直接的・間接的の両側面において極めて効果が高い取り組みと言える。特にリノベーションスクールはそれなりの投資が必要となるが、全国の自治体における採用数を見れば明らかなように、それ以上の効果が得られる。草加市のように継続がさらなる相乗効果につながるので、継続・発展を期待する。

2 議会映像インターネット配信事業

1 評価対象事業の概要

事業名	106 議会映像インターネット配信事業
所管課	議会事務局
事業概要	開かれた議会づくりのために、議会中継配信を行う。 議会中継は、インターネット環境の整備が進み、住民ニーズの高まりなどから近隣自治体においても配信を行っている。 議会は町民に対し、議会活動に関する情報を積極的に提供し、説明責任を果たし、議会と町政に関心を持てるよう努めことが重要である。その一つの手段として、議会中継配信を導入する。
事業効果	議会の模様を公開できるようになることで、多くの町民が町の重要施策の審議などに興味を持ち、町民参加のまちづくりを後押しすることができる。
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議場内のカメラシステム導入初期設定費用 ・ 映像中継データ編集委託 ・ 映像中継システム運用業務委託 ・ カメラシステム保守契約 <p>1,821 千円（令和4年度当初予算額）</p>
事業実績	<p>議会映像配信に必要な機材の調達や設置、調整、さらには、関係例規等の整備などを行った。</p> <p>万全の体制で配信を行う必要があり、上記の準備等を確実にを行うためにスケジュールを調整したことから、11月から試行・再検討、3月から本稼働となった。</p> <p>731 千円（令和4年度決算額）</p>
関連する成果指標（KPI）	—

2 内部評価

(1) 担当課評価【第1次評価】

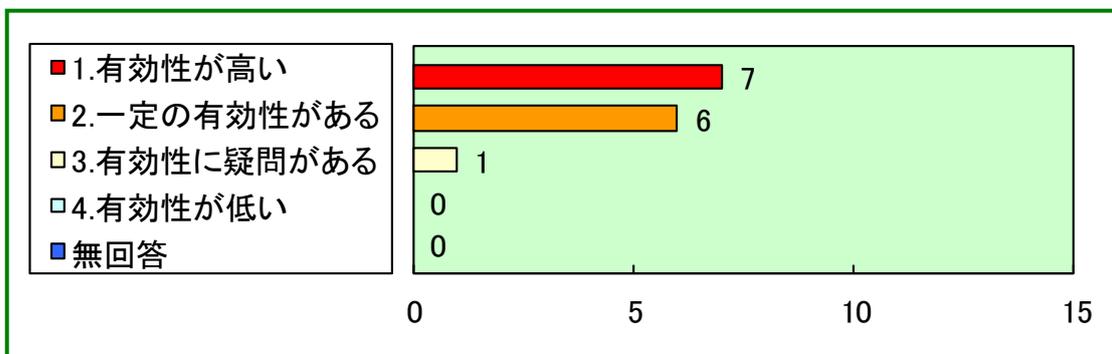
事業 の 評 価	評価項目		コメント
	有効性	1. 有効性が高い	一般質問で取り上げられる重要施策の質問・答弁を議会映像配信することにより、町民の議会と町政への関心を高めることができた。また、これにより、町民参加のまちづくりの後押しができた。以上のことから、有効性が高いものと判断した。
	効率性	1. 効率性が高い	職員が議会映像配信の環境を整備し、会期中に議会映像の加工（テロップ挿入等）や映像データのアップ作業を行うことは、非常に困難であるため、コスト・実施手法ともに、効率性が高いものと判断した。
	妥当性	1. 妥当性が高い	インターネットを使用していない方が非常に少なくなっている現在、インターネットを通じた議会映像の配信は、時代の潮流に即したものと考えており、妥当性は高いものと判断した。

(2) 町長評価【第2次評価】

事業 の 評 価	評価項目		コメント
	総合 評価	1. 順調である	令和4年6月からの実施を予定していたが、議会映像配信に必要な機材の調達や設置、調整、さらには関係例規等の整備などを行い、万全の体制で配信を行う必要があり、スケジュールを調整したことから、11月から試行・再検討、3月から本稼働となった。委託・稼働期間は、5か月間となったが、取組は軌道に乗っており、順調と認識しているところである。

3 外部評価 【第3次評価】

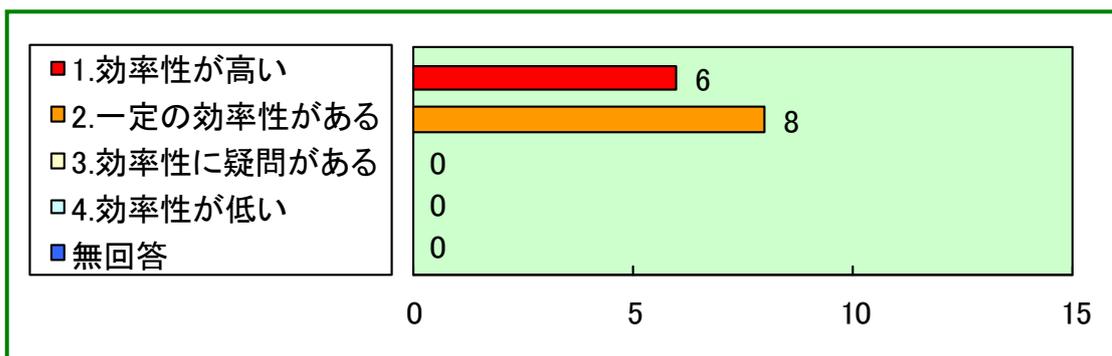
① 事業の有効性



委員からのコメント

- 将来的にはライブ化を目指してほしい。正しい記録と即時性のバランスをとった配信により、より議会の透明性が保たれるのではないか。
- 杉戸を知ってもらうチャンス。
- ネット配信が当たり前の昨今、住民の町政への関心を高め、町民参加のまちづくりにとって有効性が高いと判断する。
- 町民参加のまちづくりという観点から、インターネットでの閲覧機能は必須。
- インターネット配信において、有効であることは言うまでもない。
- 地域の方々からも好評である。
- ネット配信は当然。

② 事業の効率性

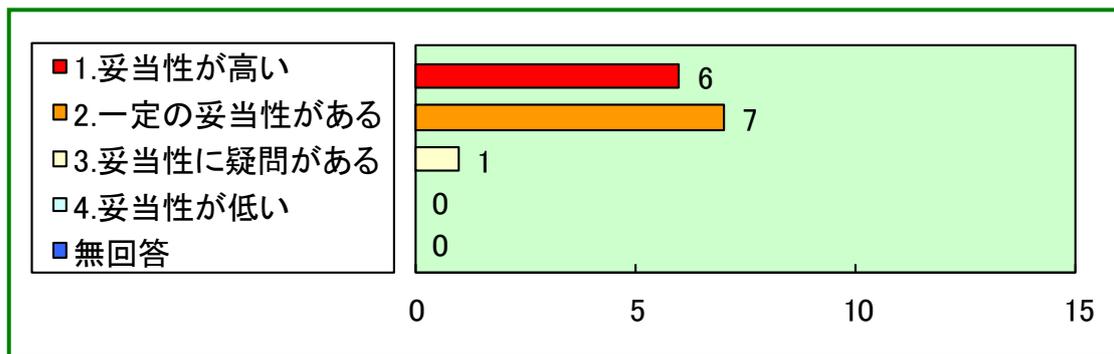


委員からのコメント

- デジタル化時代の広報活動として欠かせない活動であり、コスト的にも適切であると思う。
- 新たな事業を始める場合、初期設定に費用がかかるのは当たり前のことであるが、稼働期間が5か月であるため、効果の有無は不透明であると考えている。

- インターネットは効率性が高いので、費用対効果は良いはず。
- さらに効率性を追求する必要性がある。
- スマホ等の保有率は高いため、いつでも見られることは Good。
- 実績を踏まえつつ、効率性向上委努められたい。

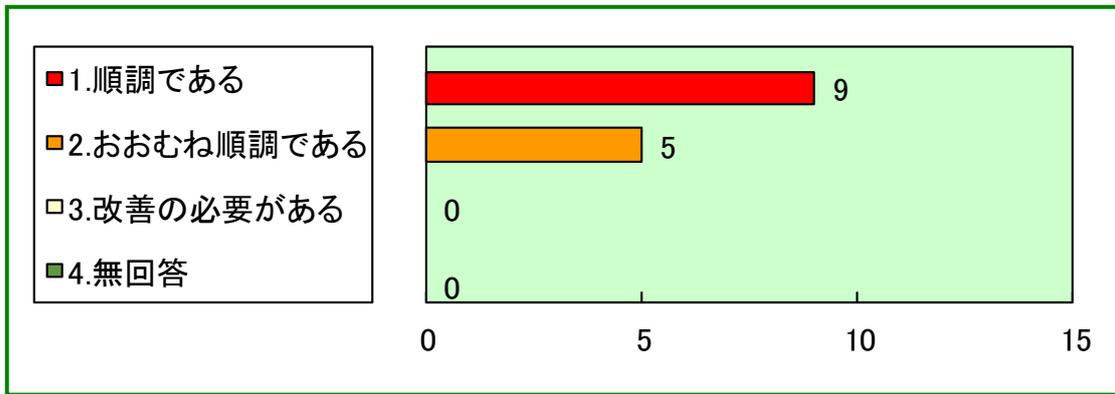
③ 事業の妥当性



委員からのコメント

- 適正であると思う。
- 始まったばかりで、公開までに時間がかかっているようですが、いつ誰に見られても恥ずかしくない、編集を必要としない、議会運営の見直しをしていただければ、編集などの時間やコスト削減につながると思う。
- インターネットのない環境の方が珍しい時代であり、ネット配信の妥当性は高い。
- 一定の妥当性を認める。
- 応援している町民は多いため、今後も推進していただきたい。
- ネット配信は当然。

④ 総合評価



委員からのコメント

- 議会の内容について、若い世代にも関心を持っていただける事業だと考える。今後を期待している。
- インターネットでの配信はとても有効的（議会運営に関心を持ってもらうこと）であると思うが、杉戸町の高齢化を考えると、どれくらいの人たちが興味を示しているか懐疑的でもある。
- 編集をしなくてもライブ配信できるような議会運営を期待する。
- いずれライブ事業（配信）まで進むことを期待する。
- スイッチャー担当の職員の方、今後も頑張ってください。
- 実績を踏まえつつ、改善を図られたい。
- 議会と町民の距離を縮める非常に有効な取組みであると言える。ただし、視聴数などは必ずしもすぐに期待値に達するとは限らない。町民への周知を絶えず有効な方法により実施し、粘り強く継続することが、行政運営に対する町民の信頼を得る上でたいへん重要であると考えます。

5 おわりに

町では、第6次杉戸町総合振興計画に掲げられた町の将来像である「みんなで育てるまち すぎと」に向け、第2次実施計画に掲げた様々な事務事業を実施してきたところであるが、昨年度に引き続き、杉戸町総合振興審議会において、そのうちの2事業について評価を行った。

外部評価を行うにあたり、事業を実施した担当課から直接説明を受け、質疑を行うことで、単に成果を確認することに留まらず、担当課の考え方や現状、課題なども聞くことができ、事業の妥当性や今後の展望などを踏まえて、客観的な評価を行うことができた。

今回、外部評価を実施した事業については、道路整備による町民の安全性向上やDX化の推進による議会映像のインターネット配信など、住民生活を守るものや行政の透明化に関するもので、町民の生活に直結する身近な事業であるため、今回の評価結果を真摯に受け止め、今後の事業に対し有効に活用し、さらに進展していくことを期待する。

結びに、この報告書の内容については、第4次実施計画の策定や、令和6年度の予算編成に活用していくとともに、今後の杉戸町発展の一助となれば幸いである。

杉戸町総合振興審議会委員名簿

1号委員（関係団体等を代表する者）7名（敬称略）

No	氏名	備考
1	木村 三樹男	
2	大橋 登喜夫	
3	板橋 昇	職務代理者
4	鈴木 豊	
5	宮野尾 政子	
6	金久保 繁	
7	坂本 吉江	

2号委員（識見を有する者）4名

No	氏名	備考
8	水野 順子	
9	石井 康之	
10	佐々木 誠	
11	菊地 信一	会長

3号委員（まちづくりに関心の高い者）3名（公募）

No	氏名	備考
12	新井 晃	
13	宮脇 俊幸	
14	亀田 明憲	